

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【公開番号】特開 2012-226214 (P2012-226214A)

【公開日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報 2012-048

【出願番号】特願 2011-95286 (P2011-95286)

【国際特許分類】

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/02

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 16 日 (2014.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザの操作により、設定可能な複数の撮影モードのうち全てより少ない複数の撮影モードを特定の操作部材に割り当てることが可能な登録手段と、

前記特定の操作部材が操作されたことを検出すると、当該操作された操作部材に割り当てられた撮影モードに切り替えるモード切替手段と、

シャッターボタンの操作に応じて前記モード切替手段により切り替えられた撮影モードで撮影処理を実行する制御手段と、を有し、

前記特定の操作部材は前記シャッターボタンと同じ高さまたは上部に配置されていることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記特定の操作部材は、操作部材のうち、前記シャッターボタンに最も近い場所に配置されている操作部材であることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

ユーザが前記撮像装置を保持するためのグリップ部が設けられ、

前記特定の操作部材は、前記撮像装置に装着されたレンズユニットより前記グリップ部側に配置されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記特定の操作部材は、前記グリップ部を持つ手の指のうち、前記シャッターボタンを操作可能な指以外の指では操作できない位置に配置されていることを特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記特定の操作部材は、前記撮像装置の背面以外の場所に配置されていることを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記特定の操作部材は、当該特定の操作部材を、前記シャッターボタンを操作する指と同じ指で操作するには、前記シャッターボタンから前記同じ指を離さないと操作できない

位置に配置されていることを特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記設定可能な複数の撮影モードは、ホワイトバランス設定値や露出補正值を含む複数の設定値をユーザが設定しておくことが可能なカスタム設定モード、所定の操作部材で絞り値を変更可能な A v モード、前記所定の操作部材でシャッタースピードを設定可能な T v モード、プログラムモード、マニュアルモードのうち少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 8】

ユーザの操作により、設定可能な複数の撮影モードのうち全てより少ない複数の撮影モードを特定の操作部材に割り当てることが可能な手段を有する撮像装置の制御方法であって、

シャッターボタンと同じ高さまたは上部に配置されている前記特定の操作部材が操作されたことを検出する検出工程と、

前記検出工程により操作が検出された操作部材に割り当てられた撮影モードに切り替えるモード切替工程と、

前記シャッターボタンの操作に応じて前記モード切替工程により切り替えられた撮影モードで撮影処理を実行する制御工程と、を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 9】

コンピュータを、請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載された撮像装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 10】

コンピュータを、請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載された撮像装置の各手段として機能させるためのプログラムを記憶したコンピュータによる読み取りが可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

図 3 に示すカメラ 100 の背面の配置場所 D はファインダ 105 に対してグリップ部 240 とは反対側、配置場所 E はファインダ 105 からグリップ部 240 側に配置されている。配置場所 E に配置された操作部材は、図 8 のように撮影者が撮影姿勢に入った際に、その構えのまま右手親指にて操作することができる。また配置場所 E に配置された操作部材は、図 8 のように撮影者が撮影姿勢に入った際に、レンズユニット 150 を保持している左手を持ち替えることで操作できる。配置場所 D、E にある部材をそれぞれ操作部材群 235, 236 とする。また配置場所 F は表示部 113 の下部に配置されており操作部材群 237 とする。ここに配置された操作部材は、図 8 のように撮影者が撮影姿勢に入った際に、一旦ファインダ 105 から目を離して右手または左手を持ち替えることで操作することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】

511

撮影モードの登録

512 ☐ Programモード ☐ Manualモード

☐ Tvモード ☒ カスタム設定1

☒ Avモード ☒ カスタム設定2

514

登録

513